現職研修資料　「（近い将来）タブレットを使ってみよう」原稿

H２７．８．６．

皆さんにタブレット端末を配って実際にやってもらうのがいいのですが無理。見る・聞くだけになってしまう。タブレットの有効性がちょっとでも伝わるといい。

【どのタブレット端末が学校で使われているのか】

○WindowsのCMを見せる。２０１３年。

<https://www.youtube.com/watch?v=gkEIq8sZBYU&index=2&list=FLEtmko1xBHHTjGutcVeiNuA>

○「OS（オエペレーティングシステム）」はタブレット端末を動かす基本のソフト。

　そのソフトの力を借りてタブレット端末を動かすのが「アプリ」

○タブレット端末に搭載される代表的なOSが3種。

　WindowsOS　AndroidOS　iOS

○小中学校では次の通り

　**WindowsOSが７３．１%　　iOSが１９．４%　　AndroidOSが３．２%**

**特別支援学校では次の通り**

**WindowsOSが１３．４%　iOSが５１．２%　AndroidOSが３．３%**

　※出典省略

○Windowsが使われるのは、今までパソコン（多くがWindows）で作ってきた教材をそのまま使いたい、その教材を使って一斉授業を行いたいという流れであろう。

　特別支援学校では、学びの支援用アプリがたくさん利用できるiPadが多いと考えられる。

※参考：<http://mitikusa.lekumo.biz/blog/2015/06/post-b7ba-4.html>

【研の活動／学びの支援用アプリ】

○6月と7月にiTab研が主催するタブレット端末に関する研修会に出席した。参加するにあたって、iPadがある人は持参してくださいとあった。iPad限定であった。

○参加してみたら、iTab研のメンバーが、みあい特別支援学校の先生を中心に、豊橋や安城の支援学校の先生たちだった。それにビックリ。そしてどの先生も、iPadを使いこなしていた。特別支援学校でiPadが主流になっていることを、実感した。

　iTab研の先生たちは、平成２３年度からタブレット端末に関する研究をパナソニックからお金をいただいて本格的な研究をスタートさせていた。今年もう５年目。

iTab研は「愛知タブレット研究会」の略。タブレット端末の研究の先行者であるという心意気が、県名を頭にした名前にも表現されていると思った。

○学びの支援用アプリを紹介する。

○「つくるんです」　ジャングルジムと森を組み合わせる。

<https://itunes.apple.com/jp/app/doroppukitto-tsukurundesu/id976116319?mt=8>

「絵カードタイマー」

“あと１０分がんばったらジャングルジムに遊びに行こう”を作ってみる。

<https://itunes.apple.com/jp/app/huikadotaima/id834375969?mt=8>

○２台目のタブレット端末を買うのはWindowsかiPadか迷っていたが、iTab研の研修会に出て、iPadに決めた。

○特別支援学級で少人数の学級だから、１台のタブレットでできることがある。

　アプリ「国語海賊　１年生漢字編」を紹介する。

　※参考：<http://www.playstudygo.com/newapps/psg_app4>

　学級では５年生も2年生も楽しみにしていて、課題ができた人からこのアプリができるから頑張る雰囲気がある。学年が違っても仲良くやれる。

○「国語海賊　１年生漢字編」を使って、もう一度「絵カードタイマー」を紹介する。

【どのようにタブレットは普通学級に入ってくるのか　予想】

1. 教師が１人タブレットを使う
2. 子どもたちがグループでタブレット１台を使う
3. 子どもたちが１人１台で使う

学校で入手する台数が増えていくことで、①⇒②⇒③と移行していくと思われる。

○NECのCMを見せる。２０１４年。タブレット端末を片手に授業を行う教師。タブレット端末を操作すると、離れたところにある電子黒板に映像が飛ぶ。このCMを見た時には、

格好がいいなあと思った。以前は６０秒のCMもあったが、今は３０秒ものだけ。

<https://www.youtube.com/watch?v=iuv8juUuDac&index=1&list=FLEtmko1xBHHTjGutcVeiNuA>

【教師が１人タブレットを使う場面】

○男性教師が子どもたちに悪戦苦闘してダンスを教えるCMを見せる。２０１３年。

<https://www.youtube.com/watch?v=EKHWO_PX33Y&index=4&list=FLEtmko1xBHHTjGutcVeiNuA>

○今は「BYOD」（Bring your own deviceの略）の状態。「持ち込み」のこと。問題を起こさないようにしたい。画像注意。

○どのような場面か？

・写真の利用・・・書画カメラ的に使う

児童生徒のノートを撮影し、大型TVなどに投影し、クラス全体で共有する

理科の観察　成長する植物を同じ場所から撮影し、成長過程を確認する

・動画の利用・・・体育や部活　運動する様子を撮影し、ふり返って見せながら指導を行う

・教材を準備して使う・・・PowerPointなどで作成した教材を大型TVなどに投影し、授業の課題を示したり、反復練習したり、授業のまとめ等を行う。

※参考：<http://mitikusa.lekumo.biz/blog/2015/08/ict3-7008.html>

○動画の利用を見せたい。反転・スロー再生　さらに拡大もできるアプリ。「SpeedUpTV」

※参考：<http://blog.livedoor.jp/canpycanpy/archives/52115019.html>

※参考：<http://mitikusa.lekumo.biz/blog/2015/08/8-7c9f-1.html>

【アプリを探し出すことはけっこう面白い】

○世の中には達者な人がいて、こんなアプリがあるといいなと思っていると、すでに存在し　ていたり、しばらくすると開発されたりする。

○そのアプリによって、新しくできることがある。まだまだ予測不可能。新しいアプリを見つけて、今まで不可能だと思っていたこと、発想すらしていなかった授業ができるかもしれない。そこを楽しみたい。タブレット端末の魅力の一つは、可能性を広げてくれるアプリだと思う。

○タブレットの画面上の文章を読み上げてくれるアプリがあるといいなと思って探したら発見。アプリ「ウェブ読み上げ」を紹介する。

<https://play.google.com/store/apps/details?id=info.bell_pepper&hl=ja>

このアプリが役に立っている人を考えさせる授業もできそう。

【模擬授業の体験報告　理科　みんなの意見が電子黒板に分割表示】

○フューチャーイン主催の「教育ICTセミナー２０１５」に参加。企業のいろいろな機器が展示されているのを見たり、それらの機器を使った授業を７月３０日に体験してきた。

　「機器を持って学校にお伺いしますよ」と声をかけてくれた企業もあったが、今日は間に合わず。写真で紹介。流れはここに↓

※参考：<http://mitikusa.lekumo.biz/blog/2015/08/ict-26c6.html>

○タブレット端末の画面を電子黒板や大型TVに大量に送るには、「授業支援システム」が必要。豊小のパソコン教室ですでに使っている。それのタブレット端末タイプ。このシステムがないと、模擬授業のような授業はできない。

○電子黒板（大型テレビ）、タブレット端末、授業支援システムの３本が必要。現状は・・・。

【富士通の回し者ではないけど、映像紹介】

○富士通が、youtubeで、タブレット端末に関する映像を配信している。紹介する。

　このCMは、タブレット端末で得た情報はサーバーに保存されることを示している。

　情報は安全に保管され、おそらくパスワードとかを使って情報共有もできる。２０１４年。

<https://www.youtube.com/watch?v=qOoGgVYGc5s&list=FLEtmko1xBHHTjGutcVeiNuA&index=5>

○タブレット端末に不慣れな女性教師を主人公にしたちょっとにくい映像。富士通の機器の特徴がわかる。※クレードル＝タブレット端末とキーボードを接続する台のこと。

<https://www.youtube.com/watch?v=1-0vkVoszuQ&index=6&list=FLEtmko1xBHHTjGutcVeiNuA>

○姫路市のタブレット端末授業実践映像。姫路市は４人に１台のタブレット端末を与えて、

　グループで使う方法を研究中。「姫路スタイル」と呼ばれる。ちなみに、教室で教師が１台タブレット端末を持つ研究も行われていて、それは堺市が頑張っているので、「堺スタイル」と呼ばれる。

<https://www.youtube.com/watch?v=qXP691-bOzM&list=FLEtmko1xBHHTjGutcVeiNuA&index=3>

【最後に“毎日タブレット“の宣伝】

　　情報者主任会の中に１０人ほどで「タブレット部会」を作っています。タブレット端末の情報をキャッチしては発信しています。昨年度は下記のブログ「毎日タブレット」に情報を載せていました。

　<http://mainichitab.blog.fc2.com/>　　パスワードはhiziridakeです。

今年度は教育情報ポータルサイト内に「毎日タブレット」を移して活動継続中です。

ポータルサイトは参加が面倒臭いです。でも参加してのぞいていただけると幸いです。

<https://www.contet.nier.go.jp/>

「毎日タブレット」というブログの名前は、ある講師の先生の言葉が元です。

「**一番大事なのは、毎日何かしら使い続けることですね。
しばらく使わないと、どうしても忘れてしまうんですよね。
忘れてしまうと、どんどんまた遠のいてしまいます。
せっかく学んだことを、ひとつでも構わないので、
何かちょっと使ってみることを続けると、
もう『タブレットの達人』になっていると思いますよ。」**

　ご清聴ありがとうございました。

現職研修資料　「（近い将来）タブレットを使ってみよう」　　　H２７．８．６．

【どのタブレット端末が学校で使われているのか】

【研の活動／学びの支援用アプリ】

【どのようにタブレットは普通学級に入ってくるのか　予想】

【教師が１人タブレットを使う場面】

【アプリを探し出すことはけっこう面白い】

【模擬授業の体験報告　理科　みんなの意見が電子黒板に分割表示】

【富士通の回し者ではないけど、映像紹介】

【最後に“毎日タブレット“の宣伝】